

高耐候性 1液水性アクリルシリコン樹脂系多彩ジェル塗材

水性ジェルアートSi

水 系

- 高意匠性
- 高耐久性
- 低汚染性
- 簡易施工

WATER GEL ART



建築塗料の総合メーカー

**スズカファイ株式会社**

アートをまとう贅沢 エレガントに佇む姿 多彩仕上げという選択

特殊技術により着色ジェル塗料粒子を形成。
手軽に個性的な多彩仕上げが可能に。



特 長

●高意匠性

多彩ジェルが織りなす奥行きのある石調スタイルと落ち着きのある3分つやの仕上がりは、住まいに高級感あふれる新たな意匠を演出します。

●高耐久性

防水性に優れ、建物を強固に保護すると同時に、変色・チョーキングが起きにくい卓越した高耐久設計です。

●美観維持

防かび性・防藻性に優れ、汚れを防いで美しい外観を長期間維持します。

●施工が容易

吹付けまたはパターンローラーにより、容易に施工できます。
また、塗りむらが生じにくく、タッチアップ跡も目立ちません。

●高い安全性

環境に優しい水性1液塗材で、低VOC設計です。

用 途

一般外壁新設・塗替・外壁サイディング材塗替、内装仕上げなど

適用下地

コンクリート・モルタル・PCパネル・ALCパネル・スレート・
窯業系サイディングボードなど

適用既存塗膜

リシン・吹付タイル・単層弾性・EPの活膜

注) 既存塗膜が2液形溶剤系フッ素樹脂塗料、シリコン樹脂塗料の場合は塗装できません。

塗膜性能

試験項目		試験結果	試験方法
付着強さ N/㎠	標準状態	1.3	建研式付着力試験(基材:モルタル)
	浸水後	1.3	建研式付着力試験(基材:モルタル) 浸水10日間→乾燥(50℃ 24h+23℃ 24h)
耐水性		○	水浸せき10日間 塗膜の膨れ、割れ及びはがれを目視評価
耐アルカリ性		○	水酸化カルシウム飽和水溶液浸せき10日間 塗膜の膨れ、割れ及びはがれを目視評価
温冷繰返し		○	水中18時間浸せき→-20℃ 3時間→ 50℃ 3時間 を10サイクル 塗膜の膨れ、割れ及びはがれを目視評価
促進耐候性		○	キセノンランプ法 2,000時間 塗膜の膨れ、割れ、はがれ、白亜化及び 変色を目視評価

荷 姿

水性ジェルアート下塗: 14kg/ 缶

水性ジェルアート中塗: 20kg/ 缶

水性ジェルアートS i: 16kg/ 缶

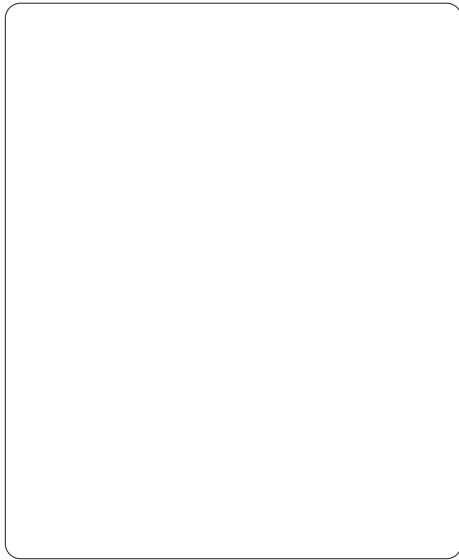
標 準 色

GT102・GT106・GT204・GT305

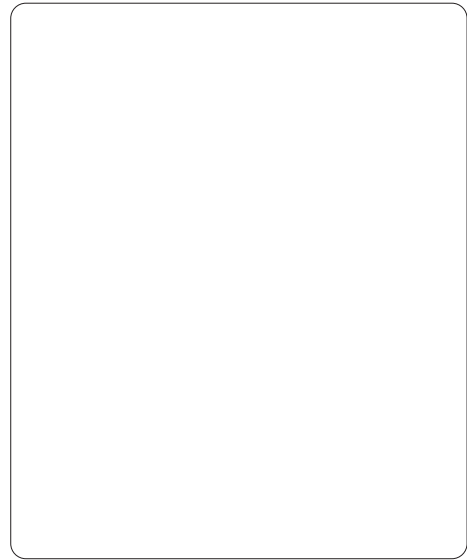
GT407・GT408・GT601



色 見 本



GT102
【パターンローラー塗り】



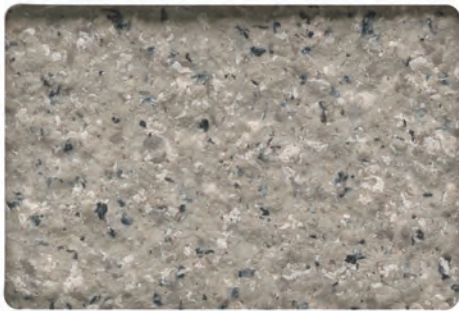
GT102
【吹付塗り】



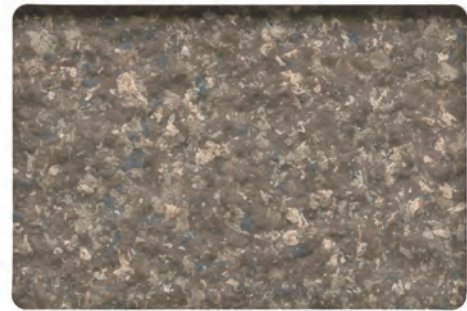
GT106 ※



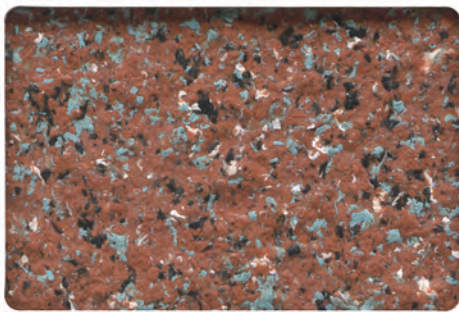
GT204 ※



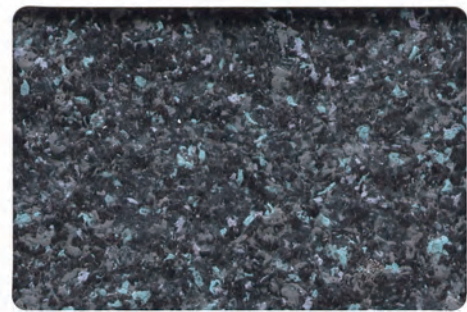
GT305 ※



GT407 ※



GT408 ※



GT601 ※

※パターンローラー塗り

お願い

- 仕上げ見本は、紙に塗装又は特殊印刷していますので、実際の仕上がりとは、色・つや・模様などが多少異なります。ご了承ください。
- 多彩模様塗料ですので、ロットにより色相が多少異なります。ご了承ください。
- 施工方法により仕上がり感が異なります。(GT102のパターンローラー塗りと吹付塗りを参考にしてください。)
- 広い面積に施工した場合、実際の色が見本帳よりも多少明るく見える場合があります。

標準施工仕様書

ローラー工法

吹付工法

工 程	塗材	調 合 (重量比)	標準所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (23℃)	施工方法
1 下地調整	・汚れ、付着物などを完全に除去し、十分に乾燥させる。 ・各種下地、塗替での下地調整方法の詳細については、標準施工要領書をご参照ください。					
2 下塗り	水性ジェルアート下塗 清水	100 0～5	0.07～0.11	1	3以上	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り
3 中塗り	水性ジェルアート中塗 清水 ^(注1)	100 5～15	0.2～0.3	1	3以上	はけ塗り ウールローラー塗り 吹付け ^(注3)
4 上塗り	水性ジェルアート Si ^(注2) 清水	100 0～5	1.0～1.2	2 (工程内) 4以上 (最終養生 24時間以上)		パターンローラー塗り ^(注4)

(注1) 水性ジェルアート中塗は水性ジェルアート S i と同じカラー No. のものをご使用ください。

(注2) 水性ジェルアート S i は、開缶時に液層分離していることがありますが、品質には問題がありません。ご使用前に攪拌棒や柄杓で軽く攪拌し均一にしてください。
ハンドミキサーで強く攪拌すると、着色ジェル粒子が潰れ、所定の柄に仕上がらないため、ご注意ください。

(注3) 水性ジェルアート中塗の吹付施工は、万能ガンを用いて下記の条件にて行ってください。
〔希釈率：10～15% 口径：3.0mm(リシン用) 吹付圧：0.3～0.4MPa〕

(注4) 水性ジェルアート S i をパターンローラーへ含ませる際に、ローラーネットなどで何度もしごくとき着色ジェル粒子が潰れる恐れがあります。
パターンローラーでくぼり塗りを行い、次いで上下左右方向にならし塗りした後、必要に応じて斜め方向に細かくむら切りを行ってください。
ローラーの運行が速いとはね返りが多くなるため、柄を揃えながらゆっくりと運行してください。柄を揃えるために過剰にならし塗りを行うと、着色ジェル粒子が潰れてしまうため、施工はできるかぎり手早く行ってください。パターンローラー細目は使用しないでください。

(注5) 水性ジェルアート Si の吹付施工では吐出量は少なめに調整し、トランスフォーマーを用いて吹付圧を一定にし、吹付距離(30～50cm)で運行速度を一定にし、むらなく均一に吹付けてください。圧力が高すぎると、着色ジェル粒子が潰れ、所定の柄に仕上がらないため、ご注意ください。

水性ジェルアート Si の注意事項

- 多彩模様塗料ですので、ロット差による多少の仕上がり感のバラツキはあらかじめご了承ください。また、異なるロットの塗料を併用する場合は、同一面での使用を避けるか、塗回数ごとに使い分けてください。
- 塗継ぎは、必ず目地部で行ってください。目地のない大壁の施工では、化粧目地を作り、石材パネル感を演出すると同時に、塗継ぎにも利用してください。
- 化粧目地は、躯体目地を活かすことを基本とし、目地幅は1～3cm、間隔は1.5m以内で目地を設定してください。
- 上塗りは、同一ロットの塗材でも、施工方法の違いにより仕上がり外観が変わりますので、事前に必ず試し塗りをを行い、仕上がりを確認してから、施工方法及び施工条件を一定にして本施工を行ってください。
- 施工直後と乾燥後では塗膜の色が異なります。
- 施工後、乾燥不十分な状態で降雨、結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、膨れ、割れ、白化、しみなどが発生するおそれがありますので、施工を避けてください。
(山間部など、夜露が早く降りる地域では、施工を早めに終え、乾燥時間を確保してください。)

施工上の注意事項

- 塗替えにおいて、リシンや吹付タイルなどの既存塗膜の場合、下塗りにリメイクブラの使用も可能です。
- 降雨・降雪が予想される時、強風の時などは施工を避けてください。
- 気温5℃以下、湿度85%以上または結露が懸念される場合は、施工を避けてください。
- 施工後に結露を生じますと、塗膜がタレたり、シミになりますので、冬期や雨天の施工には、十分ご注意ください。
- 施工面が高温(50℃以上)の場合は施工を避けてください。
- 下地は、十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)
- 他の塗材との混合は避けてください。
- 各工程の間隔時間は、所定の時間を厳守してください。
- 所要量は標準的な数値です。下地の形状や状態、施工方法、環境などによって増減することがあります。所要量が少ないと仕上がり不良や十分な塗膜性能が得られませんので、所定の所要量で施工してください。

- エアレス塗装や吹付けを行う場合は、周辺への飛散防止に十分注意し、養生などを行ってください。
- 次のような下地の場合、付着不良を生じることがありますので、施工を避けてください。
・清掃が不十分で汚れが付着している下地や強度の低い下地
・表面にふっ素樹脂コーティングや特殊コーティングが施された窯業系サイディング
- ドアバックン、ゴム、プラスチックなどの可塑性を含むものに本品塗膜面が接触すると、粘着の発生や、はく離を起こす場合がありますので、接触が予想される箇所の施工は避けてください。
- シーリング面に施工する場合は、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。
(ポリサルファイド系シーリングの場合は、2回塗りしてください)
尚、シリコン系及びブチル系シーリングの場合は、塗装を避けてください。
- 建物の構造、施工部位によっては、汚染する場合がありますのでご注意ください。
- 適用下地、適用部位及び適用既存塗膜以外への施工は塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用する前に最寄りの営業所へお問い合わせください。

取扱い上の注意事項

- 換気の良い場所で使用してください。
- 居住者・隣家・車両などへの塗料ミスト、臭いなどが飛散しないような施工方法を選ぶとともに、十分な養生をしてください。
- 臭いは食品・飲食物・衣類などに、うつる場合がありますので、施工場所から遠ざける、または養生するなど、十分注意してください。
- 粉じん・塗料ミストを吸入しないでください。
- この製品を使用するときに、飲食をしないでください。
- 取り扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 保護手袋・保護眼鏡・保護衣・保護衣・呼吸用保護具を着用してください。
- 吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けてください。
- 飲み込んだ場合は、直ちに医師に連絡してください。口をすすいでください。無理に吐かせないでください。
- 目に入った場合は、水で数分間意識深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。目の刺激が続く場合は、医師の診断/手当を受けてください。
- 皮膚(または髪)に付着した場合は、直ちに汚染された衣類をすべて脱いで取り除いてください。皮膚を流水・シャワー・石鹸で洗ってください。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当を受けてください。

- 環境への放出を避けてください。
- 漏出した場合は、すべり、流出の危険があるので直ちに布やウエスで拭き取ってください。
- 塗材は低温または高温で変質するため、必ず5～30℃の暗所で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管し、開缶した状態で長時間放置しないでください。
特に下記の場所での保管は避けてください。
・雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所など
- 内容物や容器などは、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託してください。
(排水溝、地面、河川などに流さないでください。)
- 容器を手で持つ場合は、垂直に持ち上げて取り扱ってください。
- ご使用前には製品容器に記載の注意事項をよくお読みください。また、SDS(安全データシート)もご参照ください。
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。



スズカファイン株式会社

営業本部 〒510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4
研究開発本部 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1

☎059-397-2187 FAX059-397-6191
☎059-346-1116 FAX059-346-4585

札幌支店 ☎0133-60-6311 東京支店 ☎03-5661-2211 名古屋支店 ☎052-411-1255
大阪支店 ☎072-862-1601 広島支店 ☎082-277-1116 四国支店 ☎0877-24-4621
九州支店 ☎092-938-0071

取扱店

57

URL <http://www.suzukafine.co.jp/>

●この見本帳に記載の商品の内容は、改良などのため予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。

15/09